

# 第15回 四万十つるの里祭り

■主催：四万十つるの里づくりの会 ■協力：国土交通省中村河川国道事務所、渡川ダム統合管理事務所  
 ■後援：四万十市、四万十川自然再生協議会 ■助成支援：(一社)四国クリエイティブ協会、(株)建設マネジメント四国  
 ※このほか、地域のたくさんの事業者の皆様にご協賛をいただきました。

令和5年11月25日、会場となった四万十市立東中筋中学校は、地元の方を中心にたくさんの方でにぎわいました。東中筋小学校6年生の学習成果発表には多くの人々が耳を傾け、5年生のお米販売にも長蛇の列ができました(中面でも紹介しています)。パネル展や野鳥観察ツアー、野草がゆの無料提供などでは自然豊かな四万十市を感じていただきました。また、コロナ明けに伴い、今回から「もち・菓子投げ」を再開しました。参加された方々は地元らしいイベントの復活を喜んでくださいました。



ツルパネル展



野鳥観察ツアー



もち・菓子投げ

## 四万十川流域生態系ネットワークの取り組み

### 四万十市長、出水市を訪問

令和6年1月16・17日、中平正宏四万十市長をはじめとする四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会(事務局:国土交通省中村河川国道事務所)のメンバーで、鹿児島県出水市を訪れました。出水市の椎木伸一市長と面会し、ツル保護の取り組みやラムサール条約湿地登録の経緯などの話を伺い、ツルを活用したまちづくりについて意見を交わしました。その後は、「ツル博物館クレインパークいずみ」、「出水市ツル観察センター」へ。1万羽以上のツルが羽を休めている様子は圧巻ですが、感染症の脅威も頭をよぎり、越冬地分散化の必要性を強く感じました。



### のいち動物公園で出張パネル展

四万十市にツルが来ることをもっと多くの人に知ってもらいたいという思いから、本年度は高知県立のいち動物公園でパネル展を実施。令和5年5月27日から6月25日まで、四万十市へのツル飛来の歴史や越冬中の行動などのパネル、ねぐらづくりで使っているツルのデコイ(模型)などを展示しました。来場者からは「高知にもツルが来ているとは知らなかった」、「デコイがリアルでよかった」という声が聞かれました。

※10月～11月には四万十市役所やフジグラン四万十でもパネル展を開催しました。



### ツルを見る時のお願い



ツルは非常に警戒心が強い鳥ですので、200～300m離れた場所から双眼鏡などを使って観察して下さい。写真撮影は望遠レンズを使いましょう。

### 四万十つるだよりに関するお問合せ

#### 四万十つるの里づくりの会事務局

〒787-0029 高知県四万十市中村小姓町46 中村商工会議所内  
 tel: 0880-34-4333 / fax: 0880-34-1451  
 mail: nakacci2@mocha.ocn.ne.jp

「四万十つるだより」は、(一社)四国クリエイティブ協会の助成を受け、印刷しています。



四万十つるの里づくりの会  
 人と自然の共生する  
 「ツルの里」をめざして

# 四万十 つるだより

Vol.29

発行日/令和6年2月28日 ●発行/四万十つるの里づくりの会  
<http://www.nakamura-cci.or.jp/doc/tsuru/>  
 ※本誌掲載のツル類の写真は、当会会員の夕部真一氏、国土交通省中村河川国道事務所からご提供いただいたものです。

## 今年も四万十市で越冬を記録!

ツルは例年10月下旬に四万十市にやってきますが、令和5年度は11月に入っても飛来がなく心配していました。しかし、11月12日の夕方に、東中筋の子どもたちと一緒に越冬地整備をしている江ノ村の水田にナベヅル6羽が飛来し、ねぐらに入る際には9羽に増えていました。その後は1羽が合流し10羽となり、7～8年ほど前にツルが飛来した安並、敷地や岩田などの水田で過ごしていましたが(今年は利岡でも初確認)、残念ながら11月19日に飛び去りました。



飛翔するナベヅルの群れ(R5.11.15)

それでも、あきらめることなく見回りを続けていたところ、11月28日に家族とみられるナベヅル3羽(成鳥2羽、幼鳥1羽)を、江ノ村の水田で確認しました。この家族は12月21日から所在不明となり、「越冬はもう無理か…」と落胆の声もあがっていました。しかし、年末の12月27日に四万十市に戻り、越冬\*しました。令和6年2月20日現在も江ノ村などで餌をついばみ、北帰行\*に向けて力を蓄えているものと思われます。



後川沿いの水田に降りた10羽(R5.11.17)

※越冬の定義: 当会では、四万十市で12月から1月にわたり確認され、各月1/3(10日間)以上の確認があった場合を「越冬」としています。  
 ※北帰行: 温暖な地域で越冬した渡り鳥が北の繁殖地に移動すること。

### 越冬した家族の様子



幼鳥(左)が親鳥のまねっこをしていました(R5.12.28)



水を張りデコイを置いた江ノ村の水田も利用してくれました(R6.1.24)